

# モジュール6

## 色彩心理を活用したブランディングカラー設計

### 【ワークの目的】

感覚的な「なんとなくの配色」を卒業し、ターゲットの感情を動かし、あなたの世界観を瞬時に伝えるための「色彩戦略」を構築します。色彩を単なる装飾ではなく、顧客の無意識に語りかける強力な営業ツールとして定義し直します。

### 【Q1：仕組みによる意識の書き換え】

#### (AIワーク1：ブランドカラーパレットの提案の結果を受けて)

AIがあなたのコンセプトに基づき、カラーコード付きで提案した3つの配色パレットを確認してください。

- これまで色を選ぶ際、「自分の好きな色だから」という感覚のみに頼り、それが見る人にどのような影響を与えるかという戦略的な視点を欠いてはいませんでしたか？ 何色を選んでどのように活用していましたか？
- AIが提示した論理的な配色（メイン・サブ・アクセント）を見て、色が単なる飾りではなく「視覚的な引力」を生むための仕組みであると気づいたとき、これまでの配色の迷いはどう変化しましたか？
- 知識なしに色を使う段階を終え、色彩を「戦略」として扱う決意をした今、明日からの発信においてどのような「視覚的な統一感」を徹底したいか具体的に書き出してください。

## 【Q2：学芸員視点による価値の再定義】

### (AIワーク2：色彩心理学による価値の裏付けを受けて)

あなたが選んだブランドカラーが、顧客心理に与えるポジティブな影響についての解説文を読んでください。

- その解説の中で、あなたがこれまで言語化できていなかった「自分の作品が届けたい感情（安心、期待、情熱など）」を最も的確に言い当てている部分はどこですか？
  
- 「学芸員の審美眼」で再定義された色彩の価値を確信したとき、あなたは自分のアカウントを訪れる人々に、色を通じてどのような「世界の見え方（哲学）」を感じ取ってほしいと思いましたか？

## 【Q3：理想の未来と社会への貢献】

### (AIワーク3：フィードの洗練度チェックを受けて)

インスタグラムのフィードをより洗練させ、色彩のノイズを取り除くためのアドバイスを確認してください。

- 色彩戦略によって「美術館のような統一感」が生まれたあなたのSNS。そこを訪れた観客は、日常の情報の波から解放され、どのような「心の平穏」や「活力」を得ていますか？

- あなたが戦略的に色を使いこなし、プロとしての品格を視覚的に提示することは、美しいものや癒やしを求めている社会に対して、どのような「ポジティブな影響」を与えると確信していますか？
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 「色彩の戦略」という武器を手に入れたあなたが、作品を通じて社会に生み出したい変化を記述してください。

### 【本日のプロフェッショナル宣言】

風茜の教えと本日の内省を経て、あなたがプロとして一生守り抜くと決めた信念を清書してください。

「私は、学芸員視点の（ ）を磨き、自らの表現を通じて（ ）という色彩の戦略的価値を社会に提供し続けることを誓います」